

令和2年度

事業報告書

自 令和2年4月 1日

至 令和3年3月31日

目 次

令和2年度事業報告書

I 事業別実施状況	1
公益目的事業1	1
1 緑の保全・推進事業	1
(1) 緑地保全事業	1
(2) 緑化推進事業	1
2 緑の普及啓発事業	2
(1) 普及啓発事業	2
(2) 花の街かど景観事業	3
(3) わがまち花と緑のコンクール事業	3
3 緑のボランティア事業	4
(1) 緑のボランティア育成事業	4
(2) 緑のボランティア活動支援事業	5
公益目的事業2	7
1 公園緑化・利用促進事業	7
(1) 公園緑化推進事業	7
(2) 広報誌「グリーンライフかわさき」の発行	7
(3) 「ホームページ」の発信	7
(4) 各種イベントの開催	7
(5) カーボンチャレンジ等々力の実施	9
(6) 他団体への協賛事業の実施	9
2 公園緑地等の運営事業	10
(1) 等々力陸上競技場の運営維持業務	10
(2) 等々力緑地釣池施設の維持管理業務	10
(3) 生田緑地ばら苑のバラ育成及び管理運営業務	10
収益事業	11
1 有料駐車場の運営	11
2 売店等の運営	11
(1) 売店運営	11
(2) 食堂運営	11
(3) 自動販売機運営	11
II 法人運営に関する事項	12
1 評議員及び役員等	12
2 組織図	13
3 評議員会・理事会事項	14

I 事業別実施状況

公益目的事業 1（緑の街づくりの推進及び普及啓発に関する事業）

1 緑の保全・推進事業

[37,596,089円]

(1) 緑地保全事業

特別緑地保全地区及び緑の保全地域（以下「緑の保全地域等」という。）・緑地保全協定地、保存樹林、保存生垣及び保存樹木の管理協定を市と締結した土地所有者に対し、保全に要する管理費用の一部を助成した。

令和2年度緑地保全事業奨励金支払い実績

種 別	面積・箇所数等	単 位	人 数	金 額 (円)
緑の保全地域等	510,284.60	m ²	91	9,661,906
緑地保全協定	653,595.46	m ²	105	5,461,191
保存樹林	35	カ所	34	414,000
保存生垣	36	カ所	36	432,000
保存樹木	812	本	213	1,946,000
まちの樹	33	本	26	330,000
合 計			505	18,245,097

(2) 緑化推進事業

ア みどりの事業所緑化

- 川崎市みどりの事業所推進協議会（52事業所）への活動助成を行った。
(800,000円)
- 同協議会加入事業所における「公共のみどり」として79,797.9m²、12事業所への維持管理等にかかる費用の一部を助成した。
(2,813,937円)

イ 生垣づくり

市街化区域内において公共性がある場所で、延長5m以上の生垣を新設した人に、費用の一部を助成した。

- 3カ所 延べ41.6m
(236,400円)

ウ 駐車場緑化

市街化区域内において公共性がある場所で、駐車場で延長10m以上緑化する場合、樹木の援助をする。令和2年度は申請がなかった。

エ 屋上・壁面緑化

市街化区域内において建築物の屋上・壁面を緑化した人に、費用の一部を助成する。

- 屋上緑化 1ヶ所 34m² (408,000円)
- 壁面緑化 1ヶ所 8m² (80,000円)

オ まちの樹診断及び治療

「まちの樹」に指定された樹木について、樹木診断及び治療を行った人に、その費用の一部を助成する。令和2年度は申請がなかった。

カ モデル地区緑化

- ・ 地域の緑化と住民の緑化意識の高揚を図り、花と緑のあふれる潤いのある地域づくりを推進するため、協会と協定を締結した宮前区野川町内会（野川交差点）のモデル地区に対し草花等を助成した。

2 緑の普及啓発事業

(1) 普及啓発事業

[16, 350, 436 円]

ア 思い出記念樹

出生・結婚等の思い出として、市民に記念樹を贈呈した。

(1, 034本)

- ・ 対象別配布本数

出生	入園	入学	成人	結婚	銅婚
158	129	195	63	29	19
銀婚	金婚	賀寿	新市民	新築	合計
37	31	254	33	86	1,034



- ・ 苗木別配布本数

(ドラセナ・幸福の木)

ツバキ	ツツジ	シャクナゲ	キンモクセイ	ジンチョウゲ	ライラック	アジサイ	モッコウバラ
21	41	72	73	63	104	76	66
サルスベリ	ハナミズキ	ナンテン	ガジュマル	ゴールト クレスト	パキラ	ベンジヤミン	ドラセナ
31	65	40	98	32	108	94	50
合計							
1,034							

イ 花と緑の市民フェアへの協賛

等々力緑地で開催される予定であった花と緑の市民フェアは、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発出により中止となった。

ウ 緑化に関するパンフレット等による普及啓発活動

緑化に関するパンフレットを作成し、各種行事において花の種及び花の苗等を配布し普及啓発活動を行った。

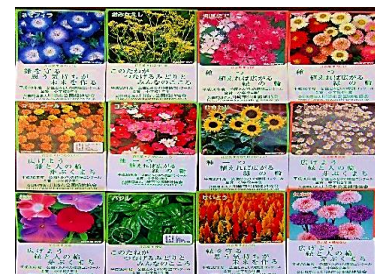
- ・ パンフレット

「思い出記念樹」「緑の活動団体」「緑化助成制度」

の3種計14,000部を作成した。

- ・ 花の種、花の苗等

緑化に関する普及啓発を目的として花の種21種計36,100袋、花の苗3,400株、ゴーヤの苗700株、チューリップの球根750球を川崎市立小中学校、緑の活動団体等へ配布した。



(花の種)

エ 公園とみどりのポスター・標語コンクール（第48回）

市立小学校の児童及び市立中学校の生徒を対象に、公園とみどりに対する認識と緑化活動への普及啓発を目的に実施した。

- ・ 応募期間 令和2年6月下旬～10月中旬
- ・ 応募作品 緑化を題材としたポスター
220点、標語868点
- ・ 入賞作品 76点（ポスター36点、標語
40点）を表彰し、宮前区役所
に展示した。また、令和元年度
の入賞作品は、アゼリア広報コーナーに展示した。



（アゼリア広報コーナー）

オ 花と緑の推進活動

市内の緑化を効果的に進めるため、市を縦断する3つの軸（道の軸・鉄道の軸・川の軸）を緑化重点の中心とし、その軸線上の吹込交差点周辺、東名川崎インターチェンジ周辺、武蔵中原駅周辺の花壇やプランター及びばら苑アクセスロードのバラの維持管理等を市民や企業との協働により実施した。



（野川交差点花壇・高津区）

カ 川崎市緑化基金募金活動

緑化活動への普及啓発を目的に緑化基金募金活動を実施する予定であったイベントは、新型コロナウイルス感染症拡大防止・緊急事態宣言発出によりすべて中止となった。

（2）花の街かど景観事業

ア 市役所通り花の街かど景観事業

花壇18箇所、ハンギングバスケット42基、フラワースタンド2基に四季の草花を植え、維持管理を行った。

イ 川崎駅前花の街かど景観事業

東口駅前の花壇5箇所、プランター6基に四季の草花を植え維持管理を行った。



（川崎駅前ハンギングバスケット）

（3）わがまち花と緑のコンクール事業（第16回）

市内の優れた景観の発掘と、花と緑を通して美しい潤いのある景観づくりに努めている個人、団体を募集し、89件の応募があった。一方、市民ボランティア等による現地調査及び審査会並びに表彰式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止・緊急事態宣言発出により中止となったが、応募作品の冊子を作成し、配布した。



（第16回わがまち花と緑のコンクール応募作品）

- ・ 応募期間 令和2年3月10日から4月16日まで
- ・ 応募総数 89件（個人23件・団体66件）

3 緑のボランティア事業

(1) 緑のボランティア育成事業

[63,380,584円]

ア 花と緑のまちづくり講座（緑化推進リーダー育成講座）

地域の緑化活動の核となり、推進力となる人材を育成するため「令和2年度花と緑のまちづくり講座」を実施した。

- ・ 実施日 令和2年9月10日から令和3年1月28日までの6回
(内、第6回講座は緊急事態宣言発出により中止)
- ・ 参加者 12名（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため通常の募集人員より減らして開催）
- ・ 修了者 11名



(等々力緑地内花壇での実習)

イ 里山ボランティア育成講座（かわさきの森づくり）

川崎の緑を守り、育てる里山ボランティアを育成するための講座を開催し、里山での活動に向けた基礎知識や下草刈り、間伐等のフィールド学習を実施した。

- ・ 実施日 令和2年6月9日から令和3年1月24日までの18回
(講義編2回、実践編16回)
(内、講義1回は緊急事態宣言発出により中止)
- ・ 実施場所 黒川丸山緑地、高石緑地他
- ・ 参加者 延べ240名
(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため通常の募集人員より減らして開催)
- ・ 修了者 11名



(王禅寺東特別緑地・麻生区)

ウ こども黄緑クラブ（こども自然体験教室）

楽しみながら四季の自然に親しみ、川崎の緑を守り育てる子ども達に、身近なふるさと感じ体験することを目的に実施した。

- ・ 実施日 令和2年6月2日から令和3年2月27日までの14回
(内、8回は新型コロナウイルス感染症拡大防止・緊急事態宣言発出などにより中止)
- ・ 場所 等々力緑地
- ・ 参加者 99名（子供51名、保護者等48名）



(等々力緑地セミのぬけがら調査)

エ 花壇ボランティア実践講座

「花と緑のまちづくり講座」卒業生を対象に、花壇ボランティアのスキルアップを目的に実施した。

- ・ 実施日 令和2年4月24日から令和2年8月7日までの6回
(内、第1回から第3回講座は緊急事態宣言発出により中止)
- ・ 参加者 25名

(2) 緑のボランティア活動支援事業

ア 緑の活動団体等による緑化

公開性の高い場所における植樹及び花壇作り等の緑化活動や、植生管理等の緑地保全活動を行う緑の活動団体全269団体のうち、213団体に活動経費の一部助成を行った。(6,335,000円)

区 別 団 体 数 () 内の数字は、登録団体数			
川崎区	30 (36)	宮前区	44 (48)
幸 区	18 (25)	多摩区	43 (51)
中原区	26 (31)	麻生区	32 (48)
高津区	20 (30)	計	213 (269)

イ 交流事業の開催

市内において緑地の保全や緑化の推進にかかわる団体が、日頃の活動の成果を広く市民に発表するとともに、これらの人々の交流を深めることを目的として、「花壇編」、「里山編」の交流会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緑の活動団体へ「協会の現地訪問」に変更して開催した。

- ・ 実施日 令和2年11月7日から11月28日まで
- ・ 訪問団体 14団体 (緑の活動団体)
- ・ 参加者 92名
- ・ 内 容 協会職員が、緑の活動団体の活動場所に訪問し、活動状況の報告、意見交換を通じて交流を深めた。(花苗70株配布)



(新ゆりアートパークス)



(ルックハイツ日吉グリーンクラブ)

ウ 寄せ植え講習会の開催

緑の活動団体会員へ寄せ植え講習会を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

エ 出前講座・活動支援の実施

緑の活動団体等を対象に、日頃の活動の中で技術の向上や知識を得たいという団体に協会職員が出張し、活動の支援、助言を行った。

- ・ 実施回数 61回



(夢見ヶ崎公園・出前講座)

オ 緑地保全活動

- ・ アボイド調査（市で取得した樹林地内の危険樹の調査、報告等）：市が指定した特別緑地保全地区等33箇所の調査報告を実施した。
- ・ かわさき里山コラボ事業：市と協定を締結し、継続的な里山保全管理を実施する企業等への支援・助言・指導者の派遣を実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止・緊急事態宣言発出により中止した。
[富士通(株)川崎工場、川崎信用金庫、岡上小学校、和光大学、日本ロレアル(株)]
- ・ 小沢城址特別緑地保全地域保全管理計画の策定ワークショップ等での助言等を行った。



(アボイド調査・王禅寺西特別緑地)

カ 緑の人材バンク登録者の活用

緑の知識や技術を活用し、市内の緑の保全と緑化の推進を図るため、緑の人材バンク登録者が、技術指導、作業補助等の支援を協会職員と協働で行った。

キ 情報誌の発行

花や緑に関する活動団体への情報提供と、その活動を広く市民に知らせる事を目的に「緑のボランティア通信」第65号から第69号を発行した。(年5回)



(緑のボランティア通信)

ク 図書・道具の貸し出しの実施

緑の活動団体等への図書及び作業用鎌、のこぎり等の道具の貸し出しを行った。

ケ 公園緑地愛護会、管理運営協議会及び街路樹愛護会活動の支援

ボランティア活動に関する情報提供等を行った。

コ チャレンジボランティア体験学習（チャレボラ）

川崎市内在住・在学の学生を対象に、夏休みの期間中、緑のボランティア活動等の体験学習を社会福祉協議会等と共催で実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止した。

サ 旧西部公園事務所の活用

緑に関わるボランティア団体等へのパネル展示などによる情報の提供、会議室の貸し出し等を行った

公益目的事業 2（公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業）

1 公園緑化・利用促進事業

[37,052,812 円]

(1) 公園緑化推進事業

緑豊かな公園の緑化推進を目的に、花壇作り及び草花の植付を実施した。

- ・ 等々力緑地内、協会事務所前花壇に四季の草花をボランティアと協働で植え、公園緑化の推進を図った。



(等々力緑地内花壇花植え)

(2) 広報誌「グリーンライフかわさき」の発行

公園緑地の利用活性化及び都市緑化の普及啓発を目的に年2回発行している。

- ・ 内容：A4版、8P、春号5、000部は発行したが、秋号は新型コロナウイルス感染症拡大防止・緊急事態宣言発出により、各種イベント等が中止となったため、発行しなかった。

(3) 「ホームページ」の発信

スマートフォン対応型にリニューアルを行い、Web広報を強化。

協会事業の周知、報告及び各種施設におけるイベントの案内などの情報を提供。フェイスブックを活用し、リアルタイムな事業発信と情報提供を行った。

- ・ アドレス：<http://www.kawasaki-green.or.jp>

(4) 各種イベントの開催

公園緑地等の運営管理者として、各施設において地域関係団体等との協働により、市民ニーズを踏まえた協会独自のイベントを企画立案のうえ、開催している。

ア 等々力サッカーフェスタ2020の開催（第14回）

等々力運動施設の利用促進とスポーツを通じて子どもたちの健全育成の支援を目的に、地元J1チーム「川崎フロンターレ」と連携し、交流会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発出により、等々力陸上競技場内でのイベントは中止した。

イ 新春凧揚げ大会の開催（第40回）

地域の子どもの健全育成の支援と、緑地利用の促進を図り、協会事業活動のPRを目的に地域子ども会との協働により開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止・緊急事態宣言発出により、多摩川河川敷での子ども達による凧揚げは中止し、白凧の絵付けと審査会を実施し表彰した。



(絵付凧審査会)

- ・ 絵付凧応募数 279点
- ・ うち入賞作品 50点 (入賞作品は、中原区役所ロビーに展示した)

ウ 「夏休みこども釣り教室」の開催（第10回）

市内の小中学生を対象に、釣りを通じて水辺と自然環境を学んでもらうと共に、青少年の育成と施設の利用促進を目的に、「等々力緑地釣り池同好会」の協力により開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

エ ばら苑一般開放時（春・秋）のイベントの開催

緑化の推進と施設の利用促進並びに協会市民還元事業の周知を目的に、バラに精通した講師による「ばらの育て方講習会」、来苑者が撮影した「バラの写真展示」、地元中学生や音楽家たちによる「生田緑地ばら苑コンサート」、ボランティアによる「ボランティアガイド」等を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止・緊急事態宣言発出により、すべて中止した。

オ 花と緑の講習会・体験教室等の実施

花と緑の普及啓発として新たな花壇づくりを目的に牧野ふみよ氏を講師に迎え、「たねダンゴ実践講座」を実施した。

- ・ 実施日 夏編 令和2年5月27日から10月7日までの6回
(内、第1回講座は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)
- 冬編 令和2年10月14日から令和3年4月21日までの4回
- ・ 場所 等々力緑地内花壇、会館とどろき
- ・ 参加者 延べ92名



(たねダンゴ実習)



(等々力緑地内たねダンゴ花壇)

カ シニアのためのウォーキング教室

公園利用の促進を図るとともに高齢者の体力づくりの基礎を学び、楽しみながら体を動かし、健康的な時間を過ごすことを目的に、併せて協会事業を広く紹介する広報活動の一環として開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

キ 小学生のためのランニング教室

公園利用の促進を図るとともに健康な子どもを育むことを目的とし、併せて協会事業を広く紹介する広報活動の一環として開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

(5) カーボンチャレンジ等々力の実施

CO₂削減に向けた環境対策事業を展開することを目的に、等々力陸上競技場で川崎フロンターレのホームゲーム開催時に、場内食堂においてリユース食器を使用する「カーボンチャレンジ等々力」事業を展開した。

この事業は、川崎フロンターレ、富士通(株)川崎工場、川崎市との協働で実施した。(20試合)令和2年度リユース食器の回収率は、96.8%であった。



(リユース食器の回収・陸上競技場)

(6) 他団体への協賛事業の実施

協会が、管理運営を行っている各種施設において、利用団体、組織などとの交流及び事業連携の推進を目的に、各種イベントの開催に協賛する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止・緊急事態宣言発出により大会等が中止となり協賛しなかった。

ア 第49回少年釣り大会

イ 第32回等々力緑地こども写生大会

2 公園緑地等の運営事業

[167,947,135円]

(1) 等々力陸上競技場の運営維持業務

等々力陸上競技場の運営維持業務及び使用料一部収納事務並びに利用者の安全管理を行った。

- ・ 施設名 等々力陸上競技場
- ・ 期間 Jリーグサッカー開催日の競技場を含む通年実施
- ・ 緊急事態宣言発出により、令和2年4月11日から5月31日まで施設を閉鎖した。

(2) 等々力緑地釣池施設の維持管理業務

へら鮒放流及び管理並びに保全を行った。

施設の維持管理業務及び使用料の収納事務並びに利用者の安全管理を行った。

- ・ 令和2年度利用者数
大人 8,964名 小人 1,000名
合計 9,964名
- ・ へら鮒1tの放流を実施
- ・ 緊急事態宣言発出により、令和2年4月11日から5月31日まで施設を閉鎖した。



(等々力緑地釣池)

(3) 生田緑地ばら苑のバラ育成及び管理運営業務

通年におけるバラの育成管理を行うと共に、春・秋のばら苑開苑期間中における施設警備、来苑者の安全の確保及び各種案内、市民サービスの向上に係わる業務について、ボランティアとの協働により実施した。



(秋のばら苑一般開放)

- ・ 開苑期間 春 新型コロナウイルス感染症拡大防止・緊急事態宣言発出により、開苑は中止した。
秋 令和2年10月15日から11月8日の25日間
- ・ 来苑者数 春 0名(開苑中止)
秋 32,336名
- ・ 内容 約800種、約3,300株の育成管理(通年)

収 益 事 業

1 有料駐車場の運営（12ヶ所）

[97,205,315円]

- ・ 等々力緑地 南駐車場、市民ミュージアム前駐車場、東駐車場
- ・ 生田緑地 生田緑地ばら苑臨時駐車場
- ・ 富士見公園 富士見公園東駐車場
- ・ 王禅寺ふるさと公園 王禅寺ふるさと公園駐車場
- ・ 多摩川緑地 宇奈根地区、丸子橋地区
瀬田地区、上平間地区駐車場
- ・ 稲田公園 稲田公園駐車場
- ・ 橘公園 橘公園駐車場



(橘公園駐車場)

「年度利用台数比較表」

駐 車 場 名	利 用 台 数 (台)		比 較	
	2年度	元年度	増△減 (台)	比率(%)
等々力緑地南	48,963	58,906	△9,943	83.1
市民ミュージアム前	66,467	90,739	△24,272	73.2
等々力緑地東	15,405	21,383	△5,978	72.0
生田緑地ばら苑臨時	3,275	7,100	△3,825	46.1
富士見公園東	16,904	35,347	△18,443	47.8
王禅寺ふるさと公園	22,382	19,060	3,322	117.4
多摩川緑地宇奈根地区	6,255	6,313	△58	99.1
多摩川緑地瀬田地区	9,167	10,220	△1,053	89.7
多摩川緑地丸子橋地区	14,846	16,972	△2,126	87.5
多摩川緑地上平間地区	4,506	4,664	△158	96.6
稲田公園	16,274	14,758	1,516	110.3
橘公園	11,500	13,815	△2,315	83.2
合 計	235,944	299,277	△63,333	78.8

- ・ 緊急事態宣言発出により、令和2年4月25日から5月27日まで駐車場を閉鎖した。

2 売店等の運営

(1) 売店運営（25ヶ所）

- ・ 常設売店 等々力緑地1ヶ所
- ・ 臨時売店 等々力緑地21ヶ所、ばら苑3ヶ所

(2) 食堂運営（2ヶ所）

- ・ 常設食堂 等々力緑地1ヶ所
- ・ 臨時食堂 等々力緑地1ヶ所

(3) 自動販売機運営（80基）

- ・ 等々力緑地、他17公園



(等々力緑地レストハウス)

II 法人運営に関する事項

[26,005,633円]

1 評議員及び役員等

(1) 評議員(令和3年3月31日現在)

役職名	氏名	推薦団体等
評議員	岩本 孝子	川崎市地域女性連絡協議会
評議員	浦野 一吉	川崎区冥加公園管理運営協議会
評議員	小笠原茂春	川崎市青少年育成連盟
評議員	小野 隆美	(公財)川崎市スポーツ協会
評議員	川口 敦	学識経験者(司法書士)
評議員	山本 泰子	国際ソロプチミスト川崎

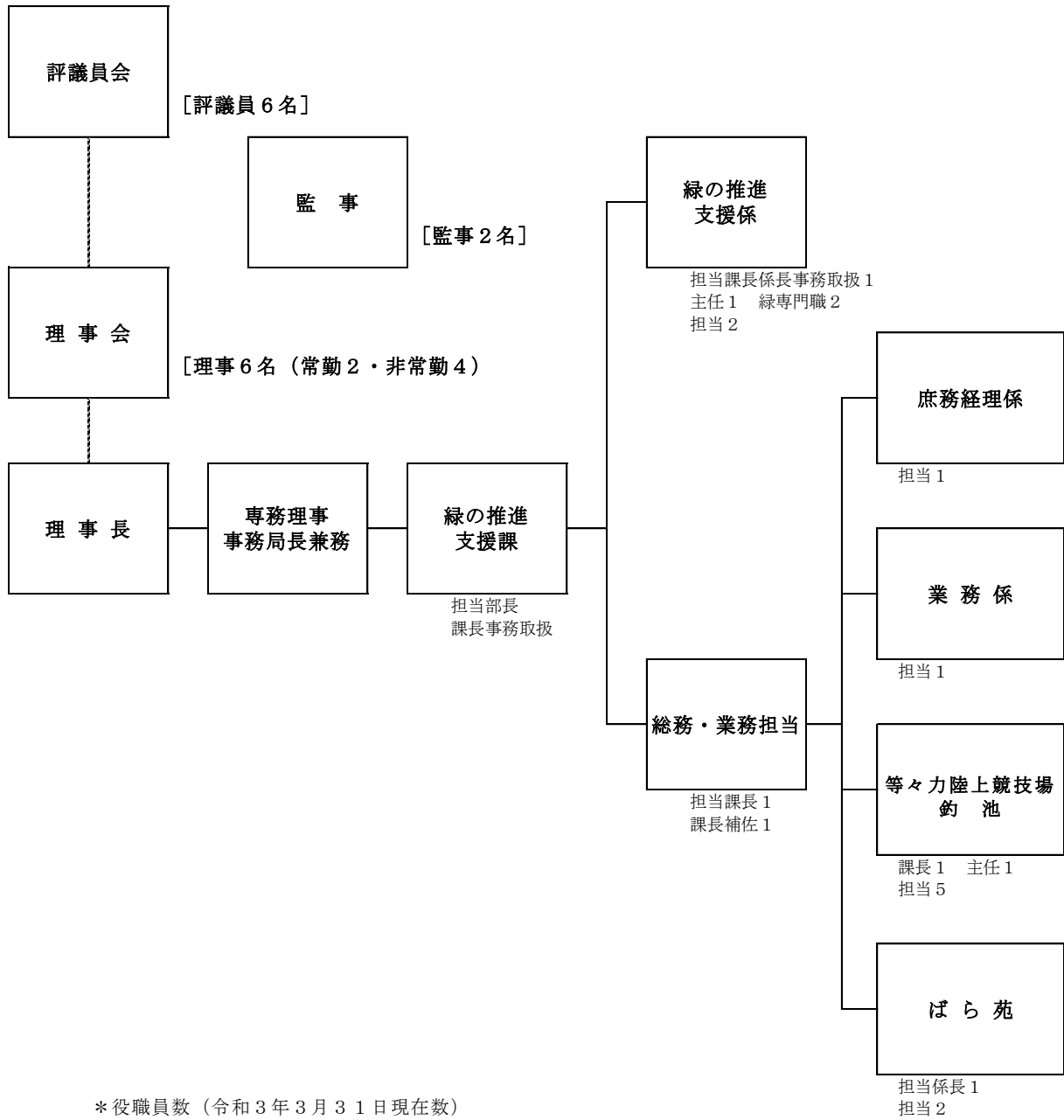
(2) 役員(令和3年3月31日現在)

役職名	氏名	推薦団体等
理事	大谷 雄二	代表理事(理事長)専任
理事	横田 覚	業務執行理事(専務理事)専任
理事	青木恵美子	川崎市地域女性連絡協議会
理事	岩井 新一	川崎商工会議所
理事	関口 鐘雪	元川崎市防犯協会連合会
理事	田中 明	中原防犯協会
監事	西谷 祐二	西谷祐二税理士事務所(税理士)
監事	橋本 光志	橋本光志税理士事務所(税理士)

(3) 役職員(令和3年3月31日現在)

区分	常勤役職員				臨時職員	合計
	役員	正職員	嘱託職員	計		
理事長	1			1		1
専務理事	1			1		1
事務局長	(専務兼務)					
緑の推進支援課		11	10	21	26	47
合計	2	11	10	23	26	49

2 組織図



* 役職員数 (令和 3 年 3 月 3 1 日現在数)

区分	常勤役員	職員	嘱託	計
合計	2	11	10	23

* 臨時職員は含まず

3 評議員会・理事会事項

評議員会

区 分	開催年月日	決議事項等
第1回評議員会	令和2年 6月 4日	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条・第195条並びに協会定款第23条・第24条の規定に基づき決議の省略及び報告の省略を行った</p> <p>報告事項（報告の省略）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度公益財団法人川崎市公園緑地協会事業報告について <p>決議事項（決議の省略）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度公益財団法人川崎市公園緑地協会決算について ・公益財団法人川崎市公園緑地協会常勤役員の報酬額等について

理事会

区 分	開催年月日	決議事項等
第1回理事会	令和2年 5月20日	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条並びに協会定款第41条の規定に基づき決議の省略を行った</p> <p>決議事項（決議の省略）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度公益財団法人川崎市公園緑地協会事業報告について ・令和元年度公益財団法人川崎市公園緑地協会決算について ・令和2年度公益財団法人川崎市公園緑地協会定時評議員会の開催について
第2回理事会	令和3年 3月19日	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条並びに協会定款第41条の規定に基づき決議の省略を行った</p> <p>決議事項（決議の省略）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度公益財団法人川崎市公園緑地協会事業計画(案)について ・令和3年度公益財団法人川崎市公園緑地協会予算(案)について